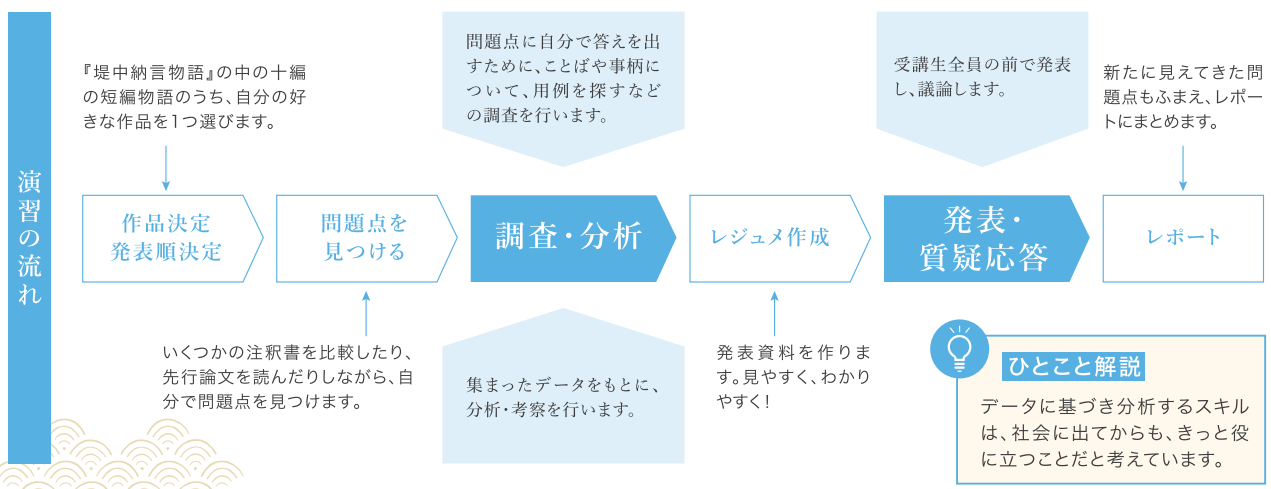


ステップで習得する 日本古典文学 古典文学はどのように学ぶの?



猫が映す平安時代と人間心理

藤井 由紀子 准教授

●ふじい・ゆきこ
1974年鳥根県生まれ。2003年大阪大学大学院博士後期課程(文化表現論)修了。博士(文学)。専門は平安文学・物語文学。主な論文に、「藤壺の宮の「女心」—注釈史における弘徽殿太后との対比的イメージをめぐる—」(『中古文学』第96号)、「光源氏の「日記」考」(『文学』第16巻第1号)など。



平安時代、猫は、犬とは比較にならないほど、高級なペットでした。高貴な女三の宮が飼うにふさわしい動物として、猫は描かれています。文学作品は、決して絵空事ではなく、必ず時代を反映するもの。現代の感覚をそのまま持ち込むのではなく、ひとつひとつの素材を、平安時代という空間に置いて考えるとき、初めてその意味が見えてきます。と同時に、人間心理は普遍のもの。猫を手に入れた柏木は、狂おしいほどにこの猫を可愛がります。恋心はかえって燃えさかり、結果、柏木は女三の宮と密通。我が身を滅ぼすことになるのです。猫には人の心を惑わす魅力がある—、猫好きなら納得するところがあるでしょう。古典の魅力は、この普遍性にもあるのです。



藤井先生って
どんな先生?

◆熱心・熱血◆パワフル!◆回遊魚(常に動いている)◆関西弁で明るくてユーモアがある先生◆ツッコミがいつもの確◆お話が面白い◆巧みな話術◆学生思い◆優しさと厳しさを兼ね備えた愛◆親身になってくれる優しさと笑顔が大好きです!◆高校時代に先生の模擬授業を受けて入学を決意。◆源氏物語をドラマのようにわかりやすく解説してくださり、平安文学の面白さを知りました。◆先輩曰く「先生はゼミ生に向けて愛のメールをくださる」◆歴史物のスマホゲームにハマってる(意外!)

[回答:藤井先生ゼミナール生]